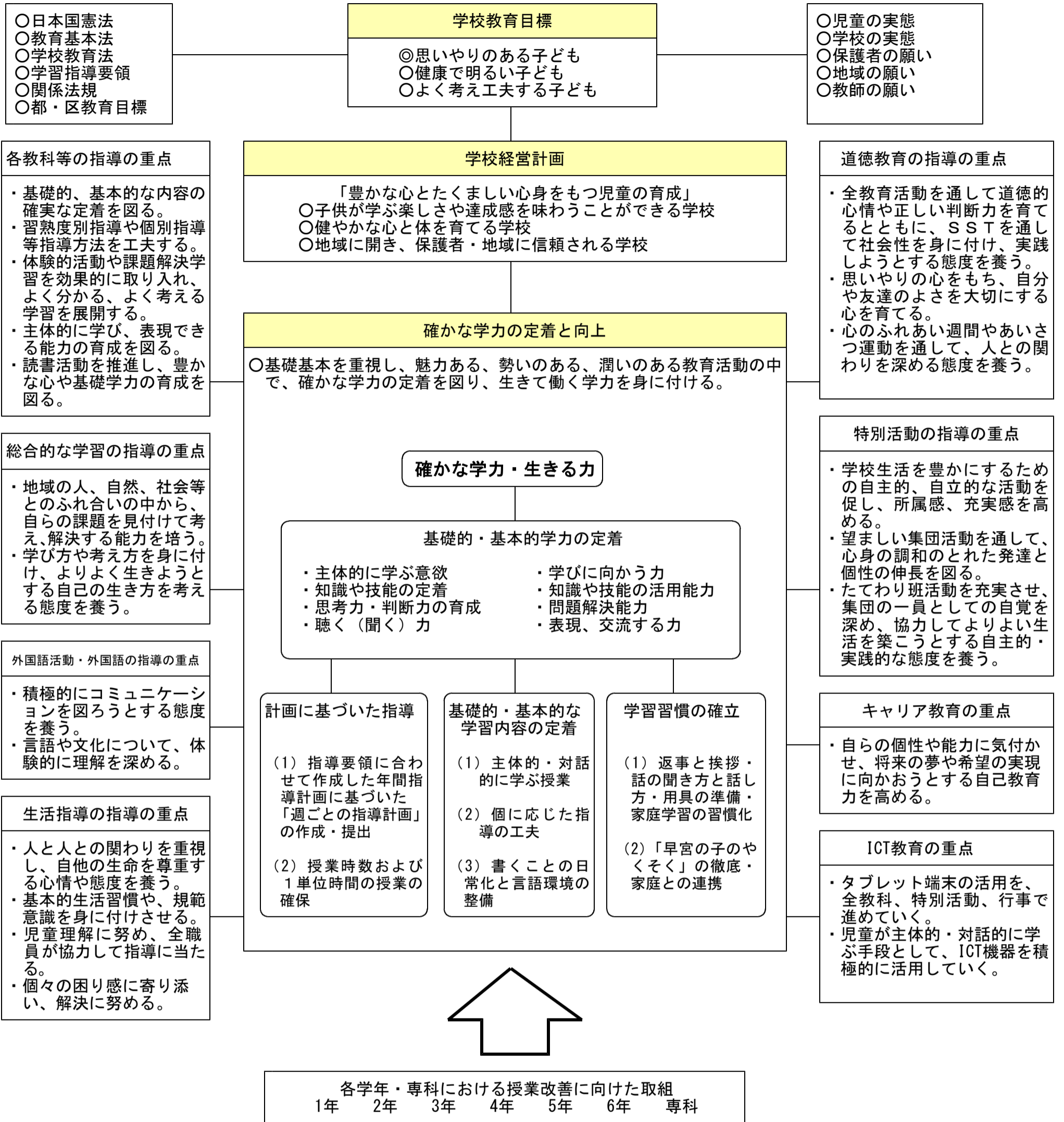


学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭・地域との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた課題別、個別学習を工夫する。 ・習熟度別学習指導(算数)で学力の定着を図る。 ・習得と活用を図る指導を工夫する。 ・教科の特性を踏まえた言語活動を充実させる。 ・学力補充教室を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や週時程を見直し、授業時数と授業準備や学校業務の時間を確保する。 ・体力向上の取組を行う。 ・朝の時間を活用し、ドリル学習や読書活動、書く活動に取り組む。 ・心のふれあい週間で個別指導を行う。 ・ゲストティーチャー(専門家)を活用した授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究を中心とした校内研究を充実させ、成果を日常の授業に生かす。 ・ICT機器の活用を含めたOJTやミニ研修会を実施し、授業力向上のための研修を深める。 ・研修等、校外で得た教育情報を報告し合う。(研修報告会) ・指導要領の理念の研修を行い、授業改善の基礎とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習評価を授業や組織運営の改善に向けた学校教育全体の取組に位置付け、指導と評価が一体となった評価計画を作成し、実施する。 ・児童自身の学習意欲の向上につながる相互評価や自己評価なども工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開、および、道徳授業地区公開講座を実施する。 ・あいさつ運動やクリーン運動など保護者の会と共に実施する。 ・地域や保護者の教育力を積極的に活用する。 ・家庭学習の推進により基礎基本の学力の定着を図る。 ・全体計画をホームページ等に掲載し、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区別協議会で協議し共通理解した内容を日常の授業に生かす。 ・校内研究授業を他校の教員に公開し、幅広く意見を求めることで、校内研究をより充実させるとともに、授業改善に生かしていく。 ・課題改善カリキュラムを、開進第一中学校、開進第一小学校と連携して、実践、検証し、授業の改善を図る。